

東北アジア農耕伝播過程の植物考古学分析による実証的研究

宮本，一夫
九州大学大学院人文科学研究院

宇田津，徹朗
宮崎大学農学部

小畑，弘己
熊本大学大学院人文社会科学部

三阪，一徳
九州大学大学院人文科学研究院

他

<https://doi.org/10.15017/2231601>

出版情報：2019-03-23. 九州大学大学院人文科学研究院考古学研究室
バージョン：
権利関係：



目 次

はじめに	宮本一夫	3
第1章 研究の目的と経過	宮本一夫	5
第2章 楊家圈遺跡における水田遺構探査	宇田津徹朗	12
第3章 楊家圈遺跡の地形測量と水田遺構の復原予想	宮本一夫	32
第4章 遼東半島文家屯遺跡出土土器の圧痕調査成果	小畑弘己	38
第5章 遼東半島王家村遺跡出土土器の圧痕調査成果	小畑弘己	61
第6章 先史時代の遼東半島と膠東半島における土器製作技術	三阪一徳	93
第7章 宇木汲田貝塚出土米の粒形質分析	上條信彦・小泉翔太	124
第8章 宇木汲田遺跡および有田遺跡から出土したイネ種子のDNA分析に 基づく弥生早期の北九州に伝播したイネタイプの検討	田中克典	145
第9章 宇木汲田貝塚から出土した雑穀の炭化穎果における放射性炭素年代 の検討	米田穰・尾壽大真・大森貴之	160
第10章 九州大学所蔵出土米の形態分析	上條信彦・小泉翔太	164
第11章 東北アジア初期農耕化4段階説と稲作農耕の諸問題	宮本一夫	199